

令和5年度

名古屋大学大学院情報学研究科
社会情報学専攻
入学試験問題（専門）

令和4年8月8日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 試験終了まで退出できない。
3. 日本語または英語で解答すること。
4. 問題冊子、解答用紙2枚、草稿用紙1枚が配布されていることを確認すること。
5. 問題は「形式論理学」、「哲学基礎」、「社会情報学の諸問題」、「環境考古学」、「文化財科学」、「電子社会システム」、「マス・コミュニケーション研究」、「国際関係論」の8科目がある。このうち2科目を選択して解答すること。なお、選択した科目名を解答用紙の指定欄に記入すること。
6. 全ての解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。解答用紙に受験者の氏名を記入してはならない。
7. 解答用紙に書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。ただし、裏面を使用した場合は、その旨、解答用紙表面右下に明記すること。
8. 解答用紙は試験終了後に2枚とも提出すること。
9. 問題冊子、草稿用紙は試験終了後に持ち帰ること。

形式論理学

以下の問 1-問 4 のすべてに答えよ。

問 1. 以下の概念について、それぞれ 100 字程度で解説せよ。

- (1) 分析的に真 (analytically true)
- (2) チャーチの提案 (Church's thesis)

問 2. P 、 Q は一項述語 (unary predicate)、 a 、 b は個体定項 (constant) とする。

- (1) 「 P または Q 」を満たすものは少なくとも 2 つ以上存在する、ということを一階述語論理 (the first-order predicate logic) の論理式によって表せ。
- (2) Pa 、 Qb 、 $a \neq b$ 、という前提から (1) で表した論理式が論理的に帰結することをタブローを使って示せ。

問 3. 古典様相論理 (classical modal logic) について考える。クリプキフレーム $\langle W, R \rangle$ について、 $\Box\Box P \rightarrow P$ が妥当であるための必要十分条件は

すべての可能世界 $w \in W$ に対して、 $w' \in W$ が存在して wRw' かつ $w'Rw$ である。このことを示せ。

問 4. 右の真理表で定義される 3 変数の真理関数 (truth function)、 $\#$ を表現する論理式の例を一つ与えよ。そして、それが確かにこの真理関数 $\#$ を表現していることを示せ。

A	B	C	$\#$
1	1	1	0
1	1	0	0
1	0	1	1
1	0	0	0
0	1	1	1
0	1	0	0
0	0	1	0
0	0	0	0

哲学基礎

次の 1 から 12 の項目の中から 4 つを選んで説明しなさい。5 つ以上回答した場合は、採点対象としません。

[美学]

1. 芸術作品の美的価値と芸術的価値 (aesthetic and artistic value of an artwork)
2. 芸術作品の倫理的価値 (ethical value of an artwork)
3. 倫理主義 (ethicism)
4. 不道徳主義 (immoralism)

[倫理学]

5. 無知のヴェール (veil of ignorance)
6. 規範倫理学 (normative ethics)
7. 他者危害原則 (harm to others principle)
8. ケアの倫理 (ethics of care)

[科学哲学]

9. 悲観的帰納法 (pessimistic induction)
10. 疑似科学 (pseudoscience)
11. 反証可能性 (falsifiability)
12. 観察の理論負荷性 (theory-ladenness of observation)

社会情報学の諸問題

次の問1から問3のうち一つを選び、答えなさい。二つ以上答えた場合は、採点の対象としません。

問1

以下の1)、2)のうち、一つを選択し答えなさい。

- 1) 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が2022年6月に閣議決定された。本計画では「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を目標としているが、これからのデジタル社会の実現に向けて、どの分野に対して何をどのように推進すべきかについて、具体的事例を挙げつつ説明しなさい。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、教育分野ではGIGAスクール構想が前倒しされ、多くの学校に情報端末やネットワークインフラの配布・整備のほかICT支援員が配置されている。現時点での本施策における成果や課題について考察するとともに、今後の教育の情報化をどのように進めてゆくべきかについて、論理立てて説明しなさい。

問2 L.レッシングは、人の行動や社会秩序を方向づける概念として、規範、法律、市場と並び、環境設計や社会設計における「アーキテクチャ (architecture)」の重要性を提起した。日本では、コンピュータ・アーキテクチャとは別に、環境管理型権力との関わりでこの用語が注目されがちである。

社会情報をめぐる「アーキテクチャ」は、人の行動や社会秩序をいかに方向づけるのか。とりわけ「アーキテクチャ」が、表現の自由について与える影響について説明しなさい。

問3

以下の1)、2)、3)のすべてに回答しなさい。

- 1) ヴィクター・パパネック (Victor Josef Papanek) が『生きのびるためのデザイン *Design for the Real World—Human Ecology and Social Change*』(1971)で示した問題意識は、どのようなものであったか述べなさい。
- 2) 1)の問題意識は、後の日本のメーカーの「ものづくり (craftsmanship)」やデザイナーの活動にも見てとることができると言われている。どのような例が考えられるか、簡単に説明しなさい。
- 3) 1)や2)の観点から見たばあい、芸術作品はどのようなものであるべき、と考えられるだろうか。芸術作品に関する具体的な例をあげながら、自分の考えを述べなさい。

環境考古学

貝塚などを発掘すると、昔の人が利用した魚の骨が出土することが多い。

[1] 日本の遺跡から出土する魚種を3つあげなさい。

[2] 遺跡から出土する魚骨からわかることを述べなさい。

文化財科学

遺跡で出土する動物（例：シカ）の年齢について、歯や骨から判定する方法を具体的に述べなさい。図を用いてもよい。

電子社会システム

以下の問題を2問とも解答しなさい。

問1. 以下の、情報通信技術（ICT: Information and Communication Technology）に関連する用語すべてについて簡潔に説明しなさい。

1. デジタル田園都市国家構想
2. メタバース
3. NFT (Non-Fungible Token)
4. デジタル庁デジタル推進委員
5. LiDAR (Light Detection and Ranging / Laser Imaging Detection and Ranging)

問2. 2012年に政府により掲げられた「電子行政オープンデータ戦略」から10年が経とうとしている。当初は取組の容易さから、既に公開済みのデータを中心に普及・展開が進められてきたが、近年ではサービスの設計段階からオープンデータでの公開・活用を前提とした取組が進められつつある。地域におけるオープンデータの推進を更に加速するための方策について、以下の用語の中から2つ以上用い、独創的かつ具体的な提案を考案しつつ、その独自性や有効性について説明しなさい。

用語： オープンデータバイデザイン、ガバメントクラウド、
自治体DX、地域DX、CxO

マス・コミュニケーション研究

以下の問1から問3のうち、2つを選んでそれぞれ答えなさい。3問とも解答した場合は採点しない。

問1. メディア・コミュニケーション論におけるゲートキーパー(gatekeeper)の概念について、

- 1) それは何を意味するのかを説明しなさい。
- 2) 近年のメディア・コミュニケーションにおいて、ゲートキーパーをめぐる様々な諸問題が指摘されているが、それらについて、具体的事例を挙げながら論じなさい。

問2. マス・メディアの影響力に関する、いわゆる「弾丸効果理論(bullet theory)」について、

- 1) その概要を、代表的な研究をいくつか挙げながら述べなさい。
- 2) このモデルが今日の事象を説明するうえでいまだ有用といえるか、いくつかの事例や研究を例示しながらあなたの考えを述べなさい。

問3. 今から60年前、ダニエル・ブーアスティン(Daniel Boorstin)は『幻影の時代』において、「疑似イベント(pseudo-event)」という概念を提起した。

- 1) 「疑似イベント」とは何を意味するか、適切な例をいくつか挙げながら説明しなさい。
- 2) 「疑似イベント」が提起されたのは、テレビや広告などの産業が台頭した時代であった。インターネットの影響力が強まった21世紀における、疑似イベント論の有効性について、適切な事例を挙げながらあなたの考えを論じなさい。

国際関係論

以下の問1から問3のうち、2つを選んでそれぞれ答えなさい。3問とも解答した場合は採点しない。

問 1. サイバースペースの拡大は、一般に、国家のパワー(power)を相対的に弱め、それまで相対的に弱体だった様々なアクターのパワーを強めている、としばしば指摘される。それに当てはまるアクターを3つ挙げ、それぞれ、いかなる意味で国家のパワーを相対的に弱め、自らのパワーを強めているといえるか、論じなさい。

問 2. 制度に関する見方は多様である。そのなかで、「新制度論(new institutionalism)」というアプローチがある。その代表的な3つの見方を挙げ、それらの特徴を説明しなさい。

問 3. インターネット時代に入って、世論の形成のされ方は変化してきている。そこで、どのような世論が形成されやすくなったかを例示し、そこにまつわる課題を指摘し、その解決策について、あなたの考えを論じなさい。